

令和 7 年度 日置市教育委員会定例会(1 月)

- 日 時：令和 7 年 1 月 21 日（火） 午後 2 時 00 分～午後 3 時 00 分
- 場 所：日吉支所日吉中央公民館大会議室（2 階）
- 出席者：奥教育長
委 員：内村委員・中島委員・鵜木委員・福田委員
事務局：東(事務局長兼教育総務課長)・中鉢(学校教育課長)
田代(社会教育課長)・内田(東市来支所長教育振興課長)
坂上(日吉支所教育振興課長)・神之門(吹上支所教育振興課長)
宮前(教育総務課長補佐)

1 開会

奥教育長： 日置市教育委員会 1 月の定例会を始めます。

2 前回議事録の承認

奥教育長： 前回 12 月の議事録の承認をお願いいたします。変更や修正等はありませんか。

(特になし)

よろしかったでしょうか。

(異議なし)

それでは、12 月の議事録は承認とさせていただきます。

【前回の議事録承認】

署名・押印は、中島委員と鵜木委員をお願いいたします。

3 委員及び教育長の報告

奥教育長： 委員及び教育長の報告です。中島委員からお願いいたします。

中島委員： 先月の定例会以降の出会い等について、報告させていただきます。

1 月 3 日、令和 7 年度日置市二十歳を祝う式に参加させていただきました。自分自身も年末年始は休みが無く、忙しかったですが、落ちついた中での式に参加させていただきました。

オープニングは例年と違い、本市からのメッセージ紹介や小・中学校時代の思い出のスナップ写真等が映し出され、参加された二十歳を迎えた方々は、学生時代を振り返る良い時間を過ごせたのではないかと思います。

個人としては、武芸などが毎年出ますので楽しみにしていましたが、こういう恩師からのメッセージなどは、改めて学生時代が思い出されたのではないかと思ったところでした。

市長、教育長の言葉もあり、昨年度の大きな震災のことも言われました。変化の激しい時代になっていくと思いますが、是非活躍できる社会人、大人になってほしいと思うところでした。

出会いは以上でした。後は、1月8日の令和6年度弟子屈町中学生交流派遣団との歓迎交流会、1月18日の青少年のための科学の祭典は、私用により欠席させていただきました。以上です。

奥教育長： ありがとうございます。鵜木委員、お願いいたします。

鵜木委員： 1月3日の日置市二十歳を祝う式は中島委員が報告なさいましたが、私からも報告させていただきます。

今年は313人、農業大学校の生徒で住民登録をしている人を含めると375人が新たに大人の仲間入りをしたことになります。

初めに、実行委員13人を代表して田畑智輝さんが「多くの協議を重ね記念冊子などを作成してきた。日置市へ贈る記念品は大型絵本と図書にして、図書館に寄贈したい。人生の節目を飾る大事な式典なので、節度ある態度で臨んでほしい。そして、大いに楽しんでください」とあいさつをされました。

式典では、永山市長がお祝いの言葉を述べられ「自分が成人式を迎えたのは日置市が合併する前年で、その時の市長になりたいという夢を今、実現している。今、夢やチャレンジすることが無い人は、夢やチャレンジに本気で頑張っている友達を応援してほしい」と自分の思いを述べられました。

次に、並松議会議長が「人生の大きな節目となる二十歳の式を迎えた。皆さんを育ててくれた親族に感謝してほしい。また、多くの人の協力で今日を迎えられたことを感謝してほしい。人生において直面する出来事に思いやりの心を持ち、社会の一員として責任をもって取り組んでほしい。皆さん一人一人の力が大きな力になると信じている。これからは若い人の感性や力が必要。無限

の可能性を大いに発揮してほしい」と祝辞を述べられました。

続いて、市長から代表の小園怜華さんに記念品として、オリーブオイルドレッシングとオリーブリーフ茶セットが贈られました。記念品目録贈呈では、代表の山尾和平さんから奥教育長に図書目録が贈呈されました。

その後、二十歳を代表して、櫻木綸樹さんと河野響さんが抱負を発表しました。

櫻木さんは、式典へのお礼、家族や地域の方々、先生達への感謝を述べ、「自分は吹奏楽をやってきたが、上手いかずに諦めかけた時、周りの支えで今がある。失敗しても、そこから学び、積極的にチャレンジして人脈を広げ、色々な人から自分に無いものを吸収し、社会に貢献していきたい」と語りました。

河野さんは「二十歳の節目となるこのような場で代表として抱負を述べるのは光栄なことで、大人として認められた思いがある。これまでの人生を振り返ると家族や地域の方々、先生方など、多くの人の支えがあった。実行委員としてオープニングの映像を作成し、そのことで充実感と満足感を味わった。これらの経験を生かし、自分も誰かを支える人となり、未来を切り開いていきたい。方法は無限大、我を忘れず様々なことにチャレンジして、これまで支えてくれた方々に感謝して生きていきたい」と語りました。

8日は、弟子屈町中学生交流派遣団の歓迎交流会に参加しました。一行は、引率者4人と弟子屈中学校の1・2年生5人、川湯中学校の1・2年生3人の12人で、受け入れ側として東市来中学校の生徒と保護者の16人も参加しました。

歓迎のあいさつや、交流団の紹介、受け入れ家族の紹介などがあり、交流会は1時間半ほど続きました。

隣の席にいる生徒と話をしたところ、弟子屈町を出る時には、気温はマイナス10度で、鹿児島に着いたら「暖かいを通り越して暑い」と感じたとのことでした。

近くにいる先生とも話をしましたが、3泊4日の行程中は家の暖房をつけたままで来ているそうです。理由は、そうしないと水道管が凍り付いて破損し、後々大変なことになるからだを教えてもらいました。冬季は家の暖房代が10万円近くかかるらしく、学

校も一日中暖房をつけっ放しにしているそうで、シーズン中に暖房代が100万円以上かかるとのことでした。鹿児島に住んでいると考えたこともない事なので、驚きました。先生達からは、是非冬に弟子屈町に来て、厳しい寒さを体験してくださいと言われました。

18日は、吹上中央公民館で開催された「日新公いろは歌」かるた取り大会を見学に行きました。今年は、低学年が17人、中学年が20人、高学年が13人の合計50人が参加しました。また、札を読み上げる吹上中学校の生徒ボランティア7人が協力をしていました。

1階の和室で高学年の部が、2階の大会議室に畳を敷いて低学年と中学年の部が行われました。

低学年と中学年の部を見学しましたが、6つのグループに分かれて活動をしていました。昨年までの砂丘荘での開催とは異なり、会場が狭く窮屈感がある中で、絵札が重なっているところがいくつかあり、札が読み上げられても見つけられないグループもありました。

また、負けたくないという気持ちが高じるのか、クラウチングスタイルでかるたに覆いかぶさるような姿勢をとる児童もいて、審判から幾度となく注意を受けていました。

決勝は、高学年の部を見学しました。やはり経験がものをいうのか、低・中学年と比べて、かるたを取るスピードが格段に速いと感じました。

その後、伊集院中央公民館に移動して、青少年のための科学の祭典を見学しました。

初めに、ミニブーメランのブースで、作品を借りて屋外で投げってみました。力を入れて投げると、輪を描いて自分の所に戻ってくるのが楽しかったです。

講師をしていた比良先生から、30メートル飛ぶという大型のブーメランを借りて試してみました。力強く投げると、先程のブーメランと違い、大きく輪を描いて戻ってくるので、とても楽しかったです。

1階の中ホール、ロビー、2階の小会議室、3階の研修室など全てのブースを見学しましたが、特に興味を覚えたのは3階の研

修室で行われていたプログラミングでした。

車型のロボットに、パソコンからいくつかのパーツを選択して組み合わせ、ロボットに転送すると、プログラム通りの動きをします。例えば「50パーセントの出力で車輪を1回転させて止まる」と指令を送るとロボットは指令通りに動きます。

また「車輪を1回転させた後、75度回転してさらに車輪を1回転させて止まる」とか、「前進しながら黒のラインを認識したら止まる」など、参加者は興味津々でプログラミングをしていました。これらの技術の応用が、車の自動運転にも生かされるのだろうと思いました。

参加している子どもも保護者も、笑顔で活動している姿が印象的でした。以上でございます。

奥教育長： ありがとうございます。福田委員、お願いいたします。

福田委員： 報告いたします。

1月3日、令和7年度日置市二十歳を祝う式に出席させていただきました。鶴木委員が詳しく述べられたので、感想だけご報告いたします。

オープニングにメモリアルタイムというのがありました。各学校の写真がスライドで出てくるんですが、小学校や中学校の思い出の写真が出てきて、自分や友達の懐かしい顔が出てくる度に大きな歓声が上がリ、盛り上がっていました。これは実行委員の皆さんが自分達で、各学校で特色のあるものにしようという事で、頑張って作られていたようでした。

今年は息子が二十歳でございまして、息子と一緒に式典に出席させていただきました。久しぶりに保育園が一緒だった子、小学校、中学校、部活の仲間と顔を合わせることができました。息子は県外に出ているので、本当に久しぶりにそういう人達と会えて「故郷っていいな。帰ってきたいな」と言っていました。

1月5日は、消防の出初め式に参加させていただきました。教育委員としてよりも、女性消防団の部長として出席させていただきました。

寒さを気にしていましたが、途中で暖かい日差しもありましたが、なんとか寒さ対策をしながら進めることができました。各消防団の方々と一緒に分列行進や観閲などを無事に行うことができ

ました。見学をされていた方に、「女性消防団の声が一番大きかったよ」と声をかけていただきましたので、良かったと思います。

1月8日に、令和6年度の弟子屈町中学生交流派遣団との歓迎交流会に参加させていただきました。私の前に鶴木委員、横には弟子屈町の先生がいらっしゃったので、色々なお話をさせていただきました。

この時期の生徒さん達は、とにかく寒いんだろうなと思い、着る物などの心配をしていましたが、やはり慣れで、さほど厚着もせずに、校舎に入ると半袖でもいいくらいだそうです。そういう様子や楽しみ、校庭を凍らせてスケートができたり、丹頂鶴が飛んできたりすると聞くことができました。スケートはできるけど、スキーはあまりできないと言われていました。そういった話を聞いて、なかなか行けない所ですが、思いを馳せることができました。以上です。

奥教育長： ありがとうございます。内村委員、お願いいたします。

内村委員： 報告させていただきます。

12月22日は、午後1時30分から年末恒例の日置市ジュニアオーケストラ第32回定期演奏会を鑑賞しました。オーケストラの弦楽器・金管楽器・木管楽器・打楽器のそれぞれを奏でる100人有余の団員が、日頃の練習の成果を如何なく発揮しました。団員一丸となって演奏し、会場に詰めかけたご家族の方々や演奏会を楽しみに来られた観衆と一体感を醸し出して、とても感動しました。

プログラム内容は3部構成となっており、第1部ではクリスマス前に合わせてクリスマスソングメドレーが演奏され、会場がとても華やいで楽しくなりました。公演終了後もアンコールの拍手が鳴り響き、年末の至福の時を過ごす機会に恵まれました。

12月23日は、午前10時から第2回日置市子ども・子育て会議に出席しました。協議内容は、令和7年度から令和11年度までの第3期日置市子ども・子育て支援事業計画の策定についての説明と検討でした。計画の中で優先的に取り組む事項として、1「保育人材の確保・定着促進」、2「病児保育に係る空白地域の施設の確保」、3「放課後児童クラブの充実」等、7項目が定められました。今後1月から2月にかけてパブリックコメントを実施し、

市民の方に意見募集をする計画です。

1月1日は、朝7時から日吉地域ニューイヤージョギング2025に参加しました。非常に寒い朝でしたが、天気恵まれ、幼児から大人まで約80人が参加して、年男・年女による国旗掲揚が厳かに朝焼けの中で始まりました。参加者の皆さんは、各自が自分のペースで楽しくグラウンド5周半の2025mを完走して、今年の健康と安全を願っていました。

1月4日は、私の住む吉利地区公民館主催の鬼火焚きが開催されました。当日は13時から育成会・子ども会と地域の方々が集まりました。子ども会・育成会は各家のしめ縄飾りや門松を集め、地域の方々は孟宗竹を切り出して櫓を作り、男子の小中学生は高齢者の方から弓矢作りを習い、自分で弓矢作りに挑戦しました。女子の小中学生は、協力しながら大きな紙3枚に鬼の面を描いて、それを櫓の上に取り付けました。

16時からの神事後、5年生の年男2人が先に、自分達で作った弓を引いて、矢を鬼の面に向けて放ちました。その後は参加している小中学生が、地域の方々から弓矢の使い方を教えてもらいながら、鬼の面を狙って弓矢に挑戦しました。上手く命中すれば、皆さんから拍手喝采でした。子ども達は何回も弓矢に挑戦し、とても楽しそうに昔の遊びに熱中して、素晴らしい体験になったと思います。

櫓の下に子ども達が松明で点火するのも初体験でしたが、夜空に火の粉が高々と上がり、参加者の周辺に舞って、今年1年の無病息災を願いました。育成会の皆さんが、燃えた炭でお餅を焼いて、焼き餅とぜんざいを参加者に配ってくださり、鬼火焚きの火の暖かさと、焼き餅、ぜんざいで、参加者の皆さんも、心も体も温かくなりました。

子ども達は鬼火焚きや弓矢打ちという地域の伝統行事を体験することで、自分の地域は楽しいなと思い、来年も是非参加しようという気持ちが郷土愛に繋がることでしょう。

1月7日は、吉利保育園の七草祝い法要に出席しました。教える年7才の男女7人が艶やかな着物を着て入場し、厳かに式が始まりました。来年度の日吉学園入学生が6人ということで、一安心しました。これから1年間、小学校入学の準備期間として、早寝

早起き・朝ごはんをしっかりする事が習慣化するように、また、交通事故に気をつけてとお願いしました。

1月3日の二十歳を祝う式は中島委員、鵜木委員、福田委員が、1月8日の弟子屈町中学生交流派遣団との歓迎交流会は鵜木委員、福田委員が詳しく述べられたので、私からは割愛いたします。以上です。

奥教育長： ありがとうございます。

それでは私から、重複しないものを幾つか報告させていただきます。

12月29日に、鹿児島城西高校サッカー部が全国大会に出場しました。市から補助金100万円を贈呈しております。残念ながら1回戦で敗退しましたが、私も個人的に応援に行ってまいりました。やはりスタジアムで見るサッカーは、応援団の迫力が肌で感じられ、良い体験をしたなと思います。

この鹿児島城西高校サッカー部の生徒は月2回程、伊集院地域の交差点で子ども達への挨拶運動を自主的にしていると聞いております。そういう日頃のボランティア精神が、全国優勝にも繋がっていくのだろーうと思います。

先程、内村委員からもありましたが、鬼火焚きが今年も各地域で行われました。今年は曜日の関係で1月4日から1月12日に散らばって行われました。行けた所は何カ所しかありませんが、感じた事は、それぞれでやり方が違うなと思いました。組み方や火の点け方にしても、それぞれに受け継がれた伝統が感じられ、味わい深いなと思いました。

どの地域でも共通しているのは、子ども達をととても大事にしてくれている事だと思います。点火に参加させたり、何らかの形で子ども達に役割を与えているところが、とてもありがたいと感謝をしたところでございます。

1月8日に、子ども民生委員の委嘱式がありました。これは3年前にスタートしまして、今回は3回目の委嘱式でした。同じ自治会ですが、市長から委嘱状を一人一人に渡されました。3年経っていますので、スタートした頃の子供達は今もう高校生になっていますが、それでも続けてくれていて、高校生から幼稚園の子までいます。こういう縦の繋がりでずっと続いていく事は、とて

も素晴らしいと思います。こういう取組が他の地域にも広がって
いくように、広報活動も大事だなと思うところでございます。以
上でございます。

4 議事

【議案第6号 日置市立東市来幼稚園預かり保育料徴収条例の制定に係る意見の申出について】

奥教育長： 議案第6号日置市立東市来幼稚園預かり保育料徴収条例の制定に係る意見の申出について説明をお願いいたします。

東局長： 議案第6号は、日置市立東市来幼稚園預かり保育料徴収条例の制定に係る意見の申出についてでございます。当該条例に係る意見の申出につきまして、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第10条第1項第2号の規定により議決を求めるものでございます。

この条例は新たに制定するものですので、今度の3月議会で提案いたします。

この条例制定の経緯について、説明させていただきます。

令和4年9月に、日置市立幼稚園の在り方に関する基本方針を制定してございます。その中の具体的な取組に「令和6年度に3つの幼稚園を統合する」という項目がありましたが、その他に「統合後の幼稚園において、預かり保育を実施する」と掲げてございました。

これに基づき、令和6年度の今年度から預かり保育を実施しておりますが、これは試行的なもので、週に多くて3回程、1日2人から3人、実施時間も4時くらいまでで、対応も幼稚園の職員が行っている状況です。

あくまでも試行として、そのような内容で行ってりましたが、令和7年度の4月からは、月曜日から金曜日まで毎日、実施時間も夕方5時までとし、完全実施いたします。それに伴い、預かり保育料、要は使用料を徴収するに当たり、条例を制定する必要があるというのが、今回の提案の趣旨でございます。

2ページが、条例の内容になります。一般的に使用料の条例を定める時は、納入義務者、金額、徴収の時期、方法を定めることとされておりますので、それに沿いまして、第2条に納入義務者、

第3条に金額として「預かり保育の額は1日当たり250円とし、保護世帯は無料とする」としております。第4条は納入期限・納入方法として「納入通知書により納入する」と書いてございます。第5条の預かり保育料の免除では「園児の属する世帯が災害に遭ったり、生計維持者が死亡した場合などは、一定期間預かり保育料を免除する」と定めております。

3ページが一番下です。附則として「この条例は令和7年9月1日から施行する」としてございます。4月1日から預かり保育を完全実施いたしますが、3月に条例の議決を頂き、4月からとなりますが、一定期間、お金がかかるという周知をする必要があると考え、2学期から料金を徴収しますので、この条例の有効となる日をずらしております。説明は以上です。

奥教育長： ただ今説明がありました日置市立東市来幼稚園預かり保育料徴収条例につきまして、ご質問はございませんでしょうか。

内村委員。

内村委員： 試行的には16時までで、今回の完全実施では17時までということですが、通常の保育時間は8時半から何時までですか。

東局長： 通常は14時までですので、預かり保育の開始は14時からとなります。

内村委員： 14時から17時まで3時間ですが、時間は関係なく250円ということですか。

東局長： 通常は3時間で250円ですが、例えば終業式、始業式ですと、教育課程は11時に終わりますので、11時から預かり保育になることも年に数回あります。その場合も250円となり、日額として250円と考えております。

内村委員： 保護者が17時までに迎えに来られなかった場合はどうなりますか。

奥教育長： そういった想定はございますか。

東局長： そういうこともあり得ると思いますが、いわゆる延長料金などは、今のところは考えておりません。

内村委員： 分かりました。ありがとうございました。

奥教育長： 鵜木委員。

鵜木委員： 試行の段階では週3回で、1日2人か3人、現在の幼稚園の先生方が面倒を見ているということですが、これから毎日預かり保

育を実施すると、幼稚園の先生方だけでは負担が大きいと思います。今の段階では、このまま幼稚園の先生方をお願いするのか、もしくは臨時に資格を持った人などを雇って仕事に当たってもらうのか、どうでしょうか。

東局長： おっしゃる通りでございます、会計年度任用職員を新たに配置したいと考えております。今、募集や予算の部分を来年度の当初予算に盛り込んでいるという状況です。

鶴木委員： ありがとうございます。

奥教育長： 他にございませんか。

(特になし)

よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは議案第6号は、原案のとおり議決とさせていただきますよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは議案第6号は、原案のとおり議決いたします。

【議案 第6号 議決】

【報告第21号 日置市部活動地域移行検討委員会設置要綱の制定について】

奥教育長： 報告第21号日置市部活動地域移行検討委員会設置要綱の制定について説明をお願いいたします。

東局長： 4ページになります。報告第21号は、日置市部活動地域移行検討委員会設置要綱の制定についてでございます。当該要綱につきまして、別紙のとおり制定し、臨時に代理したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定によりこれを報告するものでございます。

5ページをお願いします。部活動地域移行は、昨年度から、部活動在り方検討委員会設置要綱に基づいて、モデル的に事業を実施しております。

モデル的に行っている部活動地域移行の成果・課題について調査検証を行う、また、今後、部活動地域移行を進めていく上で新たな課題を検討する組織として、部活動地域移行検討委員会を設置し、協議をいただくということでございます。

5ページの第2条が委員会の所掌事項となります。今申し上げ

たようなことですが、特に（１）「地域移行モデル部活動の調査検証に関すること」が１番大きなこの委員会の役割になるうかと思えます。

第３条が組織で「委員会は、委員９人以内で組織する」とあります。中学校の校長先生が６人、モデル部活動の指導者の代表の方、学識経験者で組織するものでございます。

後は、委員の任期が２年であること、組織の中に委員長・副委員長を置くこと、５ページから６ページにかけては、委員会の会議の招集手続き、議決の手続きといった事を規定しております。

附則としまして「この告示は令和６年４月１日から施行する」とありますが、６年度からの組織となるので、臨時に代理をした報告議案となります。説明は以上です。

奥教育長： ただ今説明がありました日置市部活動地域移行検討委員会設置要綱の制定につきまして、ご質問はございませんでしょうか。

福田委員： よろしいでしょうか。

その委員会は、どれくらいの権限があるのでしょうか。何か問題が出た時に、この中で対処されるんですか。

東局長： 決定された事項に執行部側が縛られるような権力を持つ会を設置する場合は、一般的には条例で設置をします。

しかし、この会は要綱で設置しますので、ご意見は色々伺いますが、この会が教育委員会に意見を申し出ても、その申出に教育委員会が縛られるとまではいきません。

例えば、この組織がこうしなさいという決議をすると、教育委員会は最大限そうなるようにしますが、仮にそうならなかったとしても、法律違反などにはなりません。その程度の機能を持った組織となります。

奥教育長： 部活動の地域移行は、昨年度まで、在り方検討委員会という形で進めてきて、現在はモデル事業を実施しています。この会は、モデル事業が２例ありますが、この状況を調査検証する、つまりその有効性や課題などをまとめていただく会となります。

併せて、今後、日置市として、どういう部活動の地域移行の在り方が可能なのか、あるいは目指すべきなのか、などのご意見を伺うこととなります。

昨年度の在り方検討委員会の中で、アンケートを取りました。

学校・教員・保護者から取っていますが、それを受けて、現在のモデル事業は2パターンあります。

1つは、東市来のサッカースポーツ少年団で、東市来中の部活動が土日は一緒に練習をして、少年団の方が指導をしてくださっています。

もう1つは野球部で、3つの中学校が合同で、吹上中で練習をしています。これは中学校の顧問が、3校ですので3人いますが、この方々が協力して指導してくださっています。3人一緒というよりは、交替でしたり、時には合同でしたりしています。

これが果たして良いかどうか、良い部活動の在り方がどうかを今回、調査検証するということです。発展的には、せっかく中学校長が全員集まりますので、更に日置市として色々な方法を検討するとともに、現在の部活動のモデル事業で行っていること以外や、現在の在り方についても検証していく良い機会になるのではないかと思います。その結果を受けて、教育委員会として学校を指導していきたいという位置付けになります。

福田委員： ありがとうございます。

奥教育長： 他にございませんか。

(特になし)

よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第21号は、原案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第21号は、原案のとおり承認されました。

【報告 第21号 承認】

5 その他

(1) 事務局長

(2) 学校教育課長

(3) 社会教育課長

(4) 各支所教育振興課長

ア 東市来支所教育振興課長

イ 日吉支所教育振興課長

ウ 吹上支所教育振興課長

(5) その他

6 閉会

奥教育長： それでは日置市教育委員会 1 月の定例会を終了いたします。

終了

署名委員

阿部友治



署名委員

福田 直美

